



# 小国中だより

小国町立小国中学校  
令和3年3月15日  
文責 八木幸夫

## 修了式 式辞

大雪の冬でしたが、日差しにも春近しを感じられるようになり、ようやく雪解けも進んできました。令和2年度の小国中学校の学校生活も明日の卒業証書授与式を残すだけとなりました。

新型コロナウイルス感染防止のため、年度初めは入学式後も臨時休業が続き、全校生が揃って再スタートしたのは5月20日でした。制約の多い、我慢を強いられることの多い1年でしたが、君達小国中生がしっかりと成長した姿を見せてくれた1年になりました。

3年生は最上級生として、1、2年生をしっかりとリードし生徒会活動に新たな取り組みを企画しながら、規律ある学校づくりに取り組んでくれました。懸命に取り組んできた部活動の成果を発揮する場を失いながらも、明るさを失わず、常に前向きに学校生活をおくり、多くの成果を残すことができたことは、3年生の成長の証であり、心の強さであると思います。

2年生は、修学旅行、キャリアスタートウィークなど多くの体験の場が奪われました。しかし、自治会活動を通して自分たちの生活を自分たちの手で改善する取り組みを継続し、明るく元気な返事とあいさつのさわやかな学年に成長しました。互いの良さを認め支え合える学年になりました。立志式での決意を胸に刻み、卒業する3年生の後を引き継ぎ、4月からの小国中学校をしっかりとリードして欲しいと思います。

1年生は入学当時と比較すると本当に中学生らしくなりました。2年生、3年生とともに生徒会活動に、部活動等に懸命に取り組む、力を蓄えてきました。元気の良いあいさつと活気あふれる授業は1年生の大きな財産です。仲間を思いやる気持ちを育て、居心地の良い学級、学年づくりを続けて欲しいと思います。

それぞれの学年、学級、小国中生一人ひとりの成長を支えてくださった多くの人たちがいます。君たちの家族、そして地域の皆さんにも心から感謝したいと思います。そして、先生方、小国中生の指導に日々努力いただいたこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

この1年の自分自身の成長に自信を持ち、さらに高い目標を掲げ、目標達成のために、やるべきことは必ずやる、やり通す。してはならないことは決してしない強い意志を持つことを確認して、今年度を締めくくります。

令和3年 3月15日  
小国町立小国中学校 校長 八木幸夫

### 感謝

私事ではありますが、令和3年3月31日を持って定年退職いたします。新卒で赴任し、教員生活の始まりとなった小国中学校で退職を迎えることに「縁」を感じております。小国中での勤務は12年間、教員生活の1/3を小国中で過ごしました。力足らずの自分ではありましたが、「自分達の生活は自分達の活動で改善する。」意志を持った生徒達と、あたたかく支えてくださる保護者の皆さん、地域の皆さんのおかげで何とか教員生活を全うできそうです。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

(小国中学校学校文集「やまなみ」70号より抜粋)

3月12日、学校文集「やまなみ」70号を発行、配布いたしました。「やまなみ」には 新型コロナウイルスの苦境の中での小国中生の様々な思いと自治活動の努力が綴られています。今を生きる小国中生の熱い思いと、若者らしい意見があふれています。ぜひ、ご一読ください。